

第4回懇談会の主な意見等

●校舎配置について

〈校舎環境について〉

- ・勉強に集中したい3年生と他の学年を考えると、学年でフロアが分かれている方が良いと思う。
- ・早稲田通りや南側にマンションがある点も周辺環境の特性として考える必要がある。
- ・Aは教室の自然採光や通風条件、校庭に面している点で良いと思う。
- ・教室が校庭に面していないのは良くないと思う。
- ・通風について、吹抜に面しているところは風が通るが向かいに部屋があるところは通らず、また廊下の端部からの通風も考えられ少しずつ差がある。

〈校庭環境について〉

- ・Aは、校庭が狭く、生徒の活動面で心配。
- ・Aは、校庭が狭くなり、運動会で父兄が集まった時にその部分が取れるのかが心配。
- ・中瀬中はサッカーが盛んなので、Bのように面積・形状が良い校庭が良い。
- ・C・Dの体育館の北側部分は、冬に日影である点や校舎から見渡せないため防犯面、またどのように使うかが課題。
- ・C・Dは校庭と高射砲台跡地を一体で使えないのが課題。

〈災害時の対応について〉

- ・Aは、校庭が狭く、地域防災の面で心配。
- ・防災拠点として、通用口が道路とどう向き合っていくかを合わせて考えていく必要がある。
- ・防災拠点として、体育館が重要な役割でどの配置も1階になっているのは非常に良い。救援物資や給水車の動線、仮設トイレの設置場所も考えておく必要がある。

〈アクセスについて〉

- ・車両の入口と歩行者の入口で近接している部分があり、歩車分離の観点から安全面で差が出ているところがあるので、考える必要がある。
- ・Bのように、業者等の外部の人、学校開放の人、生徒の通用口を分けて、動線が分かれるようにして欲しい。早稲田通り沿いは車両出入口としては使いづらいと思う。
- ・現在は、早稲田通り側は通用門で通学には使っていないが、早稲田通りの歩道は狭く、C・Dは入ってすぐに校舎であることから、生徒の登校時に歩道が混雑する懸念がある。

〈図書室について〉

- 平面プランでラーニングセンター（図書室）が中心という形になっていないので、基本方針の目標に沿った形でどのように校舎の中で位置づけられるかを考える必要がある。
- 図書室はラーニングセンターの役割もあるので、職員室と同じ階で先生と生徒の動線上にあるのが良い。
- 図書室はラーニングセンターとして、生徒達が集う場でもあり、例えば1階の昇降口を入ったところなど、集まりやすい場所に配置して欲しい。

〈擁壁について〉

- 校舎の一部を下げて西側からもアクセスできると、地域とつながる街並を形成でき、災害時に早稲田通りと別のアクセスを確保できるなど、街づくりや景観上も良いと思う。
- 体育館を地下化して、西側から直接アクセスできると、学校開放と生徒の動線が被らなくなるので良い。
- クラブハウスを撤去することは決まっているので、どの配置にしても撤去した箇所をどうするかは考える必要がある。

〈工事計画・工事期間・コストについて〉

- 仮設校舎で10億円も差があるならば、学校施設や教育環境に使って欲しい。
- 工事期間中に仮設校舎と現校舎のどちらで勉強するのがいいのか、生徒の負担にならないようにして欲しい。
- 中学校は3年間なので、工事期間はなるべく短くして欲しい。
- 工事期間を分けて現校舎の一部を使う、妙正寺体育館を有償で午前中専有する、桃五小の体育館を部活で借用するなどはないか。

〈その他〉

- 将来的には子供の数が減り、学校の目的外利用の考え方も変わってくるだろうから、80年の利用を考えた諸室の在り方と動線を考えて、設計は柔軟性を持てるようにして欲しい。